

# 技術・家庭科（家庭分野） 2年生

## 1 技術・家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

## 2 家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。



**自分の生活を、自分の力で工夫し、より良い生活にできる力をつける!!**

## 3 3年間の主な内容

### A 家族・家庭生活

- 自分の成長と家族や家庭生活との関わり      ○家族・家庭の基本的な機能
- 幼児の生活と家族      ○家庭生活と地域とのかかわり など

### B 衣食住の生活

- 食事の役割と中学生の栄養の特徴      ○中学生に必要な栄養を満たす食事
- 日常食の調理と地域の食文化      ○衣服の選択と手入れ
- 生活を豊かにするための布を用いた製作      ○住居の機能と安全な住まい方 など

### C 消費生活・環境

- 金銭の管理と購入      ○消費者の権利と責任 など

## 4. 評価の観点と方法

知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに関わる技能を身に付けているか。	定期テスト、実技テスト、実習・実技の手際の良さ・正確性、作品・レポートの完成度、ワークシート
思考・判断・表現	これからの生活を見通し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善しようとするなどして課題を解決する力を身につけているか。	定期テスト、ワークシート、作品製作への取組方作品・レポートへの取組内容
主体的に取り組む態度	家族や地域の人々と共に協力し、よりよい生活の実現や持続可能な社会を築くために、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしているか。	作品製作の自己評価用紙、発表、ワークシート、学習への取り組みの様子（家庭学習含む）

## 5. 年間計画

前 期		後 期	
月	内 容	月	内 容
4	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px;"> <h1 style="margin: 0;">技 術 科</h1> </div>	10	オリエンテーション 【B 衣生活】 ○衣服のはたらきと手入れ
5		11	○衣服の選択と着方 ○布を用いた作品で生活を演出 製作の基礎・基本（ブックカバーづくり）
6		12	↓
7		1	【生活の課題と実践（冬休みの課題）】 ○洗濯実習レポート ○持続可能な衣生活 【B 住生活】 ○人間にとっての住まい ○生活に必要な住空間
8		2	○自然とともにある住生活 ○安全で健康的な住生活 ○持続可能な住生活 【C 消費生活・環境】 ○家庭生活と消費 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">後期期末テスト</span>
9		3	○購入・支払いと生活情報 ○消費者被害と消費者の自立 ○持続可能な社会に向けて

## 6 持ち物

- ①毎回準備するもの ⇒ 教科書、ファイル、筆記用具  
 ※ノートは使いません。毎時間プリントがありますので、そちらに記入し、提出してもらい、評価します。  
 ※教科書とファイルは学校に置いておいてよいです。自分で判断して、家庭で学習をする場合は持ち帰ってください。
- ②必要に応じて準備するもの ⇒ 裁縫セットなど  
 ※使う時期が来たら連絡します。また、兄弟で裁縫セットを使用している場合は教科担任に申し出てください。

## 7 授業について

- ①技術科と家庭科、それぞれの先生が授業をします。  
 ②1・3年生は、前期に家庭分野、後期に技術分野の学習。2年生は前期に技術分野、後期に家庭分野の学習を行います。

**2年生の学習内容が終わる頃には、  
 身の回りのことが一通りできるようになっているはず。  
 身に着けた知識と技術を使って、  
 1年生の頃よりも自分の生活を自分で工夫することができるようになろう!!**